



平成 28 年 7 月 14 日
九州地方整備局
14 時 00 分

【平成 28 年熊本地震対応】

地震後の立野ダムに関わる区域の状況について

【第 3 報】

《現地の復旧状況について》

- 河川内にアプローチするための道路の再復旧を 7 月 6 日に終え、この道路を活用しつつ、詳細な現地調査を再開しているところです。
- ダム建設予定地及びその周辺において、引き続き詳細な現地調査を専門家と行うとともに、河川内の流木や土砂の撤去等を実施していきます。

《第 2 報（6 月 3 日）以降に分かったこと》

- 立野ダムでは総延長約 880m にのぼる横坑^{おうこう}を掘削していますが、これまでの調査で、ダムの基礎岩盤として支障となるような変状は横坑内で確認されていません。

《参考：第 1 報と第 2 報の概要》

- ダム本体の建設予定地付近の河川内における詳細な現地確認により、表層のはがれ落ち以外に大規模な崩落は発生していないことを確認しています。
- ダム本体の建設予定地直下の地盤を横断するような活断層は確認されていません。
- ダム周辺における詳細な現地踏査で、ダム本体の建設予定地から約 500m 離れた位置で、既知の北向山断層に沿った地表亀裂が線状に分布し、ダム本体には向かわないものであることを確認しています。

【問い合わせ先】国土交通省 九州地方整備局 河川部

河川計画課長 坂井 佑介

電話：092-476-3523 (代表)

- 河川内にアプローチするための道路の再復旧を7月6日に終え、この道路を活用しつつ、詳細な現地調査を再開しているところです。※
- ダム建設予定地及びその周辺において、引き続き詳細な現地調査を専門家と行うとともに河川内の流木や土砂の撤去等を実施していきます。



アプローチ道路の被災状況（7月4日）



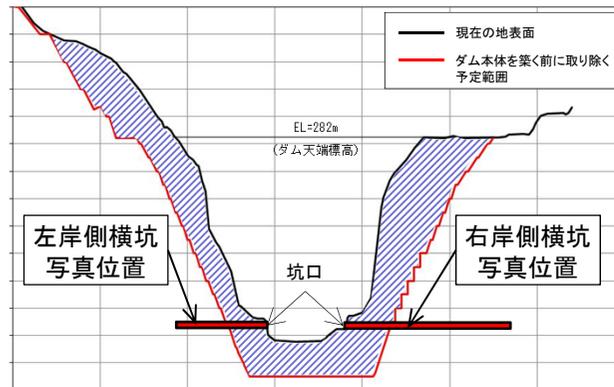
アプローチ道路の再復旧状況（7月6日）

※ 安全確保上、一般の皆様の入場は禁止しています。

ダム本体建設予定地の基礎岩盤について

おうち

- 横坑は、ダム本体建設予定地付近の岩盤に地質調査のために掘削したトンネルです。
- 立野ダムでは総延長約880mにのぼる横坑を掘削していますが、これまでの調査で、ダムの基礎岩盤として支障となるような変状は横坑内で確認されていません。



ダムサイト横坑のイメージ図



地震前の状況



地震後の状況 (6月17日)



地震前の状況



地震後の状況 (7月12日)